

慶應義塾大学大学院経営管理研究科  
グローバル・ビジネス・フォーラムによる  
日本のグランド・デザイン策定を行う融合型実践教育

## Grand Design by Japan

2013年度、フォーラム(5) Workshop

2013年11月23日(土曜日) 13:00-18:00

### 『イスラム、国際政治、国際ビジネス—最新動向の検証と対策』

概要 2013年1月のアルジェリア、イナメナス天然ガス施設の人質殺害事件、9月のケニア、ショッピングモール襲撃事件、10月の天安門の自動車侵入火災等は人々の関心を集めたが、その背景、分析、展望は十分に示されていない。これに先立つ2011年のチュニジアのジャスミン革命、リビア内戦によるカダフィ政権の崩壊、エジプト革命と軍事クーデタ等、「イスラム、国際政治、国際ビジネス」の三者は密接に関連し、今後、重要性を増すと考えられるが、今後の予測や解決は簡単ではない。

そこで、今回、ビジネスに与える影響を重視しつつ、三者の関連を整理し、日本発のグランド・デザイン策定を目的として、出席予定者から提起された問題を検討する。

出席者は事前登録による招待制とし、専門家、企業人、学生15人程度の少人数ワークショップ形式による集中討議を行う。一部に、チャタムハウスルール\*を適用する。

#### I. 基調講演1 イスラム、地域、国際政治 13:00-14:30

鈴木恵美講師、前早稲田大学イスラーム地域研究機構主任研究員：「アラブの春」以後にみるイスラーム武装組織の動向」

村主道美講師、学習院大学法学部教授：「辺境におけるイスラーム—サヘル・サハラ地域におけるイスラーム過激主義と、ミャンマーにおけるイスラーム迫害」

討議 1

#### II. 基調講演2 危機管理と国際ビジネス 15:00-16:30

福田秀人講師、立教大学大学院兼任講師、海上自衛隊幹部学校幹部高級課程講師、元立教大学教授(危機管理)

「国際ビジネスに対する組織テロの脅威と対策に関する考察」

藤井敏彦講師、埼玉大学大学院経済科学研究科客員教授

「国際ビジネスのリスク管理—ルール形成の観点から」

関京子講師、スクウェア・エニックスホールディングス、人事総務部シニアマネジャー

「想定外の非常事態における危機管理：日本企業と外資系企業の意味決定アプローチの違い—東日本大震災の実態調査から学んだ「人」と「現場」を強くする7つの教訓」

討議 2

### III. 全体討議 結論と課題 16:45-18:00

#### 基調講演概要

##### 鈴木恵美講師

2011年に始まった「アラブの春」により、アラブ諸国に民主化ドミノが起こると思われた。しかし、シリアではヌスラ戦線が結成され、シナイ半島が武装組織の新たな拠点となるなど、現実にはテロ活動が拡散し、北アフリカ諸国にアル=カーイダの弧が形成されつつある。本発表では、アラブの権威主義体制の崩壊がもたらしたテロの拡散の背景と現状、そして今度の展望について考察を加える。

##### 村主道美講師

2012-13年のイスラム世界の興味深い事件は、ひとつにはリビア政変以後におけるマリ北部でのイスラム主義勢力の発達であり、これはアルジェリアの事件と連関する。他のひとつの変化はミャンマーの改革の中で過激化した、イスラム教徒ロヒンギヤに対する仏教徒側からの迫害である。イスラム世界の東西の辺境に見えるこの二つの地域において、イスラムは攻勢と守勢との好対照をなす。この両者の時系列的変化を前者ではマリの変化から2013年のイナメナスの事件まで、後者においては仏教僧のビンラテインと呼ばれる Wirathu の登場まで時系列を追いながら、今後の可能性を考える。

##### 福田秀人講師

組織テロを、要人テロ及びゲリラと区別し、「自衛隊法81条の2第1項」にしたがって、次のとおり定義する。「テロ国家、国際テロ組織、等の大規模組織が、政治上その他の主義主張に基づき、国家もしくは他人にこれを強要し、又は、社会に不安若しくは恐怖を与える目的で、多数の人を殺傷し、又は、重要な施設その他の物を破壊する行為」。そして、その人的特性、攻撃特性、武器等を示し、これまでに前例がない国際ビジネスへの深刻な脅威となるテロの様態とその発生及び抑止可能性について考察する。

##### 藤井俊彦講師

アルジェリアでの事件などに照らし日本企業と政府はどのように国際ビジネスリスクに対応しようとしているのか、その現状を概観し今後の課題を検討する。

##### 関京子講師

想定外の非常事態現場の危機対応について、医薬品・医療機器業界に対し実施したアンケート結果をもとに、日系企業と外資系企業における「危機管理対応」と「想定外の危機発生時」における「意思決定アプローチ」の違いについて言及する。また、定常時および想定外の非常事態において、危機管理対応能力とBCPの機動性を高める意思決定アプローチに対し、考察を加える。

## 出席予定者による問題提起

- (1) テロという言葉に、政治学の中で定義の合意がなく、恣意的にテロの範囲が拡大縮小するという点。
  - (2) かなり通常犯罪に近いような事例（アルジェリア）から、著しく政治性、象徴性の高い事例（新疆—天安門）がありうること。
  - (3) テロリスト、権力、外国の権力、企業、一般人など、さまざまなレベルでの視点移動が（ロールプレイ）が対策として必要であろうこと。
  - (4) 取りうる選択肢として、解決とか根絶とか、和解とか、「平和学」的発想があてはめられないこと。
  - (5) ビジネスという角度からは、保険業界がどうテロ問題を見るか、また現地新聞などのマスコミやインターネットがそれをどう描くか。
- 
- ① リスク管理に関する欧米、中国、韓国と日本の取組方の違い。
  - ② 違いは縮めるべきか、維持したままで良いのか。
  - ③ 日本の良さ・特徴を活かしたリスク管理は可能か・意義があるのか。
  - ④ いかにブランド・デザインの策定に繋げるか。

参考資料 （第 II 部 事前準備の推薦文献）

福田秀人講師

福田秀人『ランチェスター思考2：直観的問題解決のフレームワーク』東洋経済新報社、2010年  
福田秀人「組織テロの特性と対策に関する考察＝MANPADS、RPG7、携帯電話起爆の脅威＝」  
立教大学21世紀社会デザイン研究、7号、2008年。

藤井敏彦講師

藤井敏彦『競争戦略としてのグローバルルール』東洋経済新報社、2012年

関京子講師

Boyd, J., Chet Richards, C. and Spinney, C. Eds. 2010, *The Essence of Winning and Losing*, Georgia, Atlanta : [www.dnipogo.org](http://www.dnipogo.org),

[http://pogoarchives.org/m/dni/john\\_boyd\\_compendium/essence\\_of\\_winning\\_losing.pdf](http://pogoarchives.org/m/dni/john_boyd_compendium/essence_of_winning_losing.pdf)

Mitroff, I.I. and Anagnos, G. 2001 *Managing Crisis Before They Happen: What Every Executive and Manager Needs to Know About Crisis Management*, New York: AMACOM, a division of the American Management Association, アイアン・I・ミトロフ『危機をさけられない時代のクライシス・マネジメント』上野正安・大貫功雄訳、徳間書房

**日程** 2013年11月23日(土曜日) 13:00 - 18:00

**場所** 慶應義塾大学日吉, 協生館 5F エグゼキュティブ・ルーム

**地図**: <http://www.keio.ac.jp/ja/access/hiyoshi.html>

**実施方法** 事前登録招待制によるワークショップ型の基調講演と討議

**実施主体** 慶應義塾大学大学院経営管理研究科「ビジネス・教育研究開発室」ならびに「グランド・デザイン策定の融合型教育プログラム」 [keio.grand.design@gmail.com](mailto:keio.grand.design@gmail.com)

**企画・監修** 姉川知史 慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授

**参加料金** 無料, 事前登録必要

**チャタムハウスルール\*** <http://www.chathamhouse.org/about-us/chathamhouse-rule>

## 申込方法

方法1 末尾の内容を [keio.grand.design@gmail.com](mailto:keio.grand.design@gmail.com) あるいは 045-562-3502 (Fax) にお送りください。同じものは [http://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand\\_Design\\_Project/](http://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand_Design_Project/)

[http://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand\\_Design\\_Project/index.html](http://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand_Design_Project/index.html) からダウンロードできます。

方法2 メールフォーム [http://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand\\_Design\\_Project/infoforum.html](http://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand_Design_Project/infoforum.html)

方法3 下記に氏名その他を御登録いただければ今回の参加申し込みができ、さらに、今後の企画案内送付を差し上げます。 [https://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand\\_Design\\_Project/application/](https://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand_Design_Project/application/)

**過去の配信記録** 今回は招待制のワークショップであり、動画配信は行いません。過去のフォーラムの動画配信は下記のとおりです。 <http://www.ustream.tv/channel/keio-grand-design/videos>

## 案内記録

<https://sites.google.com/site/keiogranddesign/>

## 今後のフォーラム企画 (1月以降の月末土曜日)

1. 文化とビジネス—Art and Management 2014年1月25日土曜日

王超鷹講師, 児玉由美子講師他.

2. 地域と代替エネルギーモデル

日本あるいは世界の地域における代替エネルギーの在り方について, 議論します。

3. 地域の被災地福島のリ建

\*今後, 取り上げたい企画, 御助言などがあれば, 担当者の姉川知史まで御連絡ください。

＜本プログラムは、慶應義塾の半学半教の精神に基づいて、専門横断的、世代縦断的な少人数融合型の社会人教育により、日本発の世界のグランド・デザインの策定、実現をめざし、将来世代の教育を実施中です。学生、社会人、その他の多様な背景の方々のご参加をお待ちします。今回は招待制のため、事前登録申請をお願いします。＞

**Keio Grand Design by Japan**  
**November 23, 2013, Saturday 13:00-18:00**  
**(in Japanese)**  
**2013, Forum 5, Workshop**  
**Islam, International Politics and Business**  
**- The Recent Progress and Preparation-**

**Schedule:** November 23, Saturday, 13:00-18:00

**Place:** 5F Executive Room, 4-1-1 Hiyoshi Kohoku Yokohama, Japan

**Organizer:** Keio University Graduate School of Business Administration, Grand Design by Japan

**Coordinator:** Anegawa Tomofumi (Professor)

**Purpose:** The 17-th forum on the 2011 East Japan Quake and Tsunami, Crisis Management will focus on region, architecture, and medicine. Also we feature lectures on foods and international NGO management.

Fees: Free

**Application:**

Method 1. To participate in forum, please fill in the last page and send it with an e-mail [keio.grand.design@gmail.com](mailto:keio.grand.design@gmail.com) or Fax 045-562-3502. The same form is available from [http://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand\\_Design\\_Project/](http://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand_Design_Project/)

[http://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand\\_Design\\_Project/index2.html](http://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand_Design_Project/index2.html)

Method 2. Mail form [http://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand\\_Design\\_Project/infoforum.html](http://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand_Design_Project/infoforum.html)

Method 3. Please fill in the entry form of the program.

[https://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand\\_Design\\_Project/application/](https://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand_Design_Project/application/)

**E-Learning** Past Lectures : <http://www.ustream.tv/channel/keio-grand-design/videos>

**Contact information**

Anegawa Tomofumi, Keio University, Graduate School of Business Administration

4-1-1 Hiyoshi Kohoku, Yokohama, 223-8526, Japan

Tel. 045-564-2015, Fax. 045-562-3502

E-mail: [keio.grand.design@gmail.com](mailto:keio.grand.design@gmail.com)

HP: [http://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand\\_Design\\_Project/index2.html](http://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand_Design_Project/index2.html)

<Those who want to be registered for the future announcements, please fill in your profile and contact information in a following form. [https://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand\\_Design\\_Project/application/](https://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand_Design_Project/application/) >

## Program

### I. Lectures 1 Islam, Regions, and International Politics

Suzuki Emi, Former, Researcher, Organization for Islamic Area Studies  
Muranushi Michimi, Professor Gakusyuin University.

### II. Lectures 2 Crisis Management and International Business

Fukuda Hideto, Instructor, Rikkyo University  
Fujii Toshihiko, Professor, Saitama University  
Seki Kyoko, Square Enix, Senior Manager

### III. Discussion

**Grand Design by Japan, Keio University**  
**11月23日フォーラム, 参加申し込み**  
**(事前登録: 11月21日締め切り)**

**“November 23 Workshop of the Grand Design by Japan”**

**Fax.045-562-3502 or [keio.grand.design@gmail.com](mailto:keio.grand.design@gmail.com)**

---

**Application Form, Grand Design by Japan, Fax. 045-562-3502**

Both Japanese and English information is required if available.

Name(氏名) \_\_\_\_\_

Name of School, Department (学校) \_\_\_\_\_

Year : Ph.D., Mater Undergraduate

Name of Affiliation, Position (勤務先) \_\_\_\_\_

Address 〒 \_\_\_\_\_

住所 : 〒 \_\_\_\_\_

Contact : Tel.: \_\_\_\_\_ Fax.: \_\_\_\_\_ E-mail: \_\_\_\_\_

上記申込者は、フォーラム参加にあたって、本プログラム別紙『フォーラム・シンポジウムおよび講演・授業・セミナー等の記録について承諾書』の個人情報保護、撮影、記録、配信等の覚書が適用されます。

General principles regarding to an individual participant information, recording and storing pictures of the event, and documentation are applied as shown in 『フォーラム・シンポジウムおよび講演・授業・セミナー等の記録について承諾書』 (in Japanese). Written agreement will be asked when you participate in the forum.

**Contact Information**

Office of the Grand Design by Japan Program

Keio University, Graduate School of Business Administration

4-1-1 Hiyoshi Kohoku, Yokohama-city, Japan 223-8526

Tel. 045-564-2015, Fax. 045-562-3502

E-mail : [keio.grand.design@gmail.com](mailto:keio.grand.design@gmail.com) Anegawa

HP [ [http://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand\\_Design\\_Project/index2.html](http://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand_Design_Project/index2.html) ]